

# 家畜市場 価格の推移 (11月)

## ▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位：円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立	取引	最高	最低	平均	体重
スモール	雌	12	11	91.7%	116,640	1,080	39,690
	雄	233	208	89.3%	60,480	1,080	28,813
計	245	219	89.4%	116,640	1,080	29,345	61
F1	雌	210	180	85.7%	174,960	20,520	121,135
	雄	244	236	96.7%	225,720	5,400	165,293
計	454	416	91.6%	225,720	5,400	144,868	60
ホルス(5才) 雌	68	66	97.1%	360,720	55,080	197,227	701

## ▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位：円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
十勝	6日	628	455	72.5%	865,080	274,320	536,596
南北海道	7日	111	91	82.0%	794,880	160,920	456,698
釧路	12日	331	197	59.5%	716,040	423,360	517,194
根室	13日	548	373	68.1%	703,080	361,800	530,598
豊富	14日	432	296	68.5%	630,720	379,080	512,548
十勝	26日	751	542	72.2%	1,014,120	359,640	555,034
根室	27日	374	306	81.8%	707,400	385,560	538,362
北見	28日	458	368	80.3%	692,280	233,280	523,433
合計		3,633	2,628	72.3%	1,014,120	160,920	521,308

## 業務報告(11月分)

- 1日 自民党講演会
- 4日 庄原観光いちばん協議会逸品部会
- 5日 山陽乳業(株)上期決算監査(二日間)
- 6日 広島県人権問題研修会
- 7日 東部管内青年部勉強会
- 8日 全酪連会員職員研修
- 10日 第八回理事会
- 11日 定期監査(五日間)
- 12日 山陽乳業(株)子会社調査
- 13日 中販連理事会
- 14日 食品衛生管理講習会
- 15日 中販連監事会
- 16日 ヘルパー調整会議
- 17日 北広島町酪農団体連絡協議会研修会
- 18日 JAグループ改革プラン検討専門委員会
- 19日 庄原逸品審査会
- 20日 全酪連購買担当者研修(二日間)
- 21日 代表監事との定期会合
- 22日 監査講評
- 23日 西部ミルク会研修会
- 24日 牛乳料理コンクール中国大会
- 25日 山陽乳業(株)経営検討会
- 26日 広島県酪農協政協議会
- 27日 庄原市酪農連絡協議会庄原市長・市議会議長訪問
- 28日 庄原観光いちばん協議会逸品部会
- 29日 山陽乳業(株)取締役会
- 30日 賀茂地域酪農団体連絡協議会役員会
- 31日 畜産クラスター普及セミナー
- 甲奴郡酪農女性部日帰り研修
- 中販連実務責任者会議
- 農林年金一時金選択者説明会
- 山陰乳業活性化協議会(二日間)
- 西くみ安定基金説明会
- ときめき隊会合
- 日本酪農政治連盟緊急常任委員会
- 会計検査(二十八日まで)
- DMS入力会
- (二社)全国酪農協会監査
- 北広島町酪農団体連絡協議会町長訪問
- 広島県酪農政治連盟緊急役員会
- 牛乳普及協会学乳部会会計検査
- 広酪創立二十周年記念式典・講演会

## 編集後記



- ▼十二月一日、ある酪農情報誌で『乳価交渉「できれば年内決着を」川村社長」の見出しが目にとまった。
- ▼中国生乳販連では、十二月八日、生産者サイドと各乳業社の責任担当者を集めた酪農乳業意見交換会の開催を予定し、生産者サイドからは、乳価値上げへの理解と訴求を行うことで、期待乳価の早期実現に期待感を滲ませていた。
- ▼十二月一日の報道の要点は、日本乳業協会の川村和夫会長(株)明治代表取締役社長は十一月二十八日、農林水産省が開いた食料・農業・農村政策審議会畜産部会の席上で、「乳価交渉について発言し、出来るだけ早期決着が望ましい。できれば年内に決着を図って、来年度以降の増産に向け酪農・乳業が集中できる体制をつくって行くべきだ」とあった。
- ▼中国生乳販連は、急遽、十二月八日の酪農乳業意見交換会を中止し、かわって生乳受託販売委員会、同連の理事会を開催した。
- ▼ここでは、大手乳業三社からの、平成二十七年四月から飲用、発酵乳の取引乳価を三円/kgの値上げとの情報を受けて慎重な議論が行われた。
- ▼同日の結論は、乳価交渉は同連会長に一任すると決定された。
- ▼今後、平成二十六年度乳価、平成二十七年乳価に関して、交渉が深められる。

## 市町別生乳受託量の進捗状況(11月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	26年度累計	前年比(累計)
庄原市	845.9	21.6%	93.4%	7,514.6	99.1%
三次市	714.9	18.3%	89.3%	6,408.2	93.7%
世羅町	548.8	14.0%	105.1%	4,530.6	107.0%
北広島町	400.1	10.2%	95.1%	3,233.8	86.5%
安芸高田市	369.1	9.4%	99.1%	3,020.7	98.3%
東広島市	345.7	8.8%	95.2%	2,921.6	102.1%
府中市	209.0	5.3%	97.0%	1,807.7	92.7%
福山市	116.3	3.0%	94.9%	992.4	96.9%
三原市	92.9	2.4%	99.0%	776.3	89.3%
広島市	90.2	2.3%	48.4%	792.7	52.3%
神石高原町	70.3	1.8%	84.1%	682.6	88.9%
呉市	55.3	1.4%	105.9%	421.1	104.4%
廿日市市	53.9	1.4%	86.3%	467.2	94.6%
合計	3,912.3	100.0%	93.1%	33,569.5	95.0%

## プール乳価(11月)

11月分プール乳価	前月分プール乳価	前月対比
107.575 円/kg	108.74 円/kg	98.9%

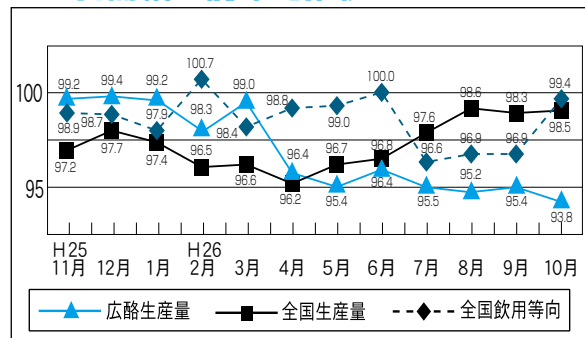
## 生乳受託実績(11月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	43	12	44	44	143
生乳出荷量(トン)	1,410.5	401.0	913.3	1,187.6	3,912.3
前年同月対比(%)	94.0%	96.5%	87.6%	95.5%	93.1%
前月対比(%)	95.9%	98.8%	97.2%	95.1%	96.3%
生乳出荷累計(トン)	12,351.0	3,342.7	7,514.4	10,361.4	33,569.5
広酪構成比(%)	36.8%	10.0%	22.4%	30.9%	100.0%

## 市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(10月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	46,282	884	28.2%	52.3
2	三次市	34,829	767	21.2%	45.4
3	安芸高田市	19,064	380	11.6%	50.1
4	北広島町	15,541	414	9.5%	37.5
5	府中市	14,094	213	8.6%	66.1
6	世羅町	7,977	560	4.9%	14.2
7	東広島市	6,474	353	3.9%	18.3
8	福山市	6,281	119	3.8%	52.7
9	三原市	4,967	95	3.0%	52.2
10	廿日市市	3,527	51	2.2%	69.1
11	神石高原町	3,032	77	1.8%	39.3
12	広島市	1,549	93	0.9%	16.6
13	呉市	373	52	0.2%	7.1
合計		163,996	4,064	100.0%	40.1

## 生乳需給の前年比推移(10月)(単位:%)



- ▼川村会長の来年度以降の増産に向けて・・・の意見発信を素直に受け止めるならば、全国的な生乳生産基盤の脆弱化進行に歯止めをかけるための『大きなカンフル剤』として乳価の大幅な値上げを願ってやまない。
- ▼十二月九日現在の為替相場はドル百二十円となった。
- ▼円安伸長にブレーキがかからない。
- ▼円安がもたらす酪農経営への影響は、輸入乾牧草価格や配合飼料価格の上昇に連動する。
- ▼このところテレビで「バターが店頭から消える」とした報道がされるが、何故か表面報道に止まり、生乳生産を担う酪農現場の実状投影が少ないような気がする。
- ▼広酪では、報道各社からの取材に対しては、円安がもたらす酪農経営での生産コスト上昇、生乳生産の推移などの情報を提供し、一般社会から応援が得られるよう地道に努力しているつもりだ。
- ▼平成二十七年もあと数日となったが、本誌が発刊される二十五日には、平成二十六年度乳価五円/kgの値上げ、平成二十七年乳価十円以上/kgの値上げとの情報を聴きたいものだ。
- ▼安心して、ひつじ年(平成二十七年)を迎えるためにも。
- ▼年の瀬も押し迫って参りました。皆様今年一年大変お世話になりました。健康に留意され良い年をお迎え下さい。